

令和 2 年 1 月 2 4 日
四国地方整備局

重点「道の駅」新たに1箇所を選定しました！

～地方創生の核となる「道の駅」の優れた取組を応援します～

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国土交通省では、関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた企画を選定し、重点的に応援する重点「道の駅」の取組を平成 26 年度から実施しています。

令和元年度は、地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等に関する企画提案を募集しました。

この度、企画提案内容を確認し、有識者等のご意見を踏まえ、四国地方整備局管内における重点「道の駅」として、以下のとおり選定しましたので、お知らせします。

〈選定結果〉

重点「道の駅」:いたの(仮称)

今後の施設整備に向け、駐車場や休憩施設等は社会資本整備総合交付金等で重点支援するとともに、自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、ハード・ソフト両面から支援

※詳細は別添資料のとおりです。

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.3美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト】に該当します。

〈問い合わせ先〉

国土交通省 四国地方整備局 道路部 道路管理課 TEL:087-811-8325(直通)

道路管理課長 大西 良明 (内線 4411)

◎建設専門官 木下 賢祐 (内線 4413) ◎: 主な問い合わせ先

令和元年度 重点「道の駅」選定駅(四国管内)



徳島県板野町
「いたの(仮称)」

重点「道の駅」

重点「道の駅」

都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
徳島県	いたの 板野町	いたの(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ○日本版DMOであるイーストとくしま観光推進機構を活用した観光資源の発掘、訪日外国人観光客へのサポートなど、次世代観光拠点の形成を図る ○徳島自動車道と高松自動車道の2つのICに近接した立地を活かし、高速道路の連結拠点と休息機能を有する ○子育て支援を目的として各種サービスやベビーコーナー等の設置。高齢者、障がい者支援を目的とした各種サービスや福祉スペースの設置 ○広域拠点として地域防災計画に位置付け、災害時の広域避難場所や支援物資流通配給基地、また支援部隊等の支援基地としての機能、及び災害・ドクターヘリポートの整備など、防災「道の駅」への認定を目指す ○農業者の所得向上と6次産業化や新たな作物づくりへの意欲向上により、農業の継続と発展を図り、次世代の育成を支援 ○自動車の次世代エネルギーとして、EV急速充電器及び水素ステーションの設置

道の駅「いたの」(徳島県板野町) 企画概要 <新設>

- 日本版DMOであるイーストとくしま観光推進機構を活用した観光資源の発掘、訪日外国人観光客へのサポートなど、次世代観光拠点の形成を図る
- 徳島自動車道と高松自動車道の2つのICに近接した立地を活かし、高速道路の連結拠点と休息機能を有する
- 子育て支援を目的として各種サービスやベビーコーナー等の設置。高齢者、障がい者支援を目的とした各種サービスや福祉スペースの設置
- 広域拠点として地域防災計画に位置付け、災害時の広域避難場所や支援物資流通配給基地、また支援部隊等の支援基地としての機能、及び災害・ドクターヘリポートの整備など、防災「道の駅」への認定を目指す
- 農業者の所得向上と6次産業化や新たな作物づくりへの意欲向上により、農業の継続と発展を図り、次世代の育成を支援
- 自動車の次世代エネルギーとして、EV急速充電器及び水素ステーションの設置



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
道の駅「いたの」	徳島県	板野町	(主)徳島引田線	新設	令和3年	一体型

観光



観光総合案内所
イーストとくしま観光推進機構を活用



道の駅で観光案内
JNTOカテゴリーⅡの認定を目指す

産業



地域特産品の商品化や6次産業化・新たな作物づくりの推進、担い手確保



地産地消レストラン

<提案の先駆性・ポイント>

- 地域特産品の商品化や6次産業化推進
- ゲートウェイとして観光総合案内によるインバウンド等観光促進、各道の駅とのネットワーク化
- ベビーコーナー等、子育て支援や高齢者、障害者等への地域福祉の充実
- 防災「道の駅」への認定を目指し、災害時の支援物資、支援部隊等の広域防災拠点としての整備
- 高速道路の利用者の休憩機能の確保、EV車等への充電等次世代エネルギー等の提供

<実施内容>

- 地産地消による6次産業化に向けた商品化や惣菜等の実演販売とレシピの配布、地産地消レストランの経営、次世代の担い手の育成・農業支援研修室により専門知識の習得
- DMOを活用し、インバウンド対応した観光案内所の設置と観光モデルルートの構築
- ベビーコーナー等、子育て支援、障がい者支援のためのスペースの整備
- 広域拠点として災害協定の締結・BCPの策定、災害支援物資や部隊受入基地、災害ヘリポート、飲料用貯水槽、防災トイレ及び非常食備蓄倉庫を設置
- 水素ステーションやEV急速充電器を設置、高速バス停留所の設置

道の駅「いたの」計画位置図

<参考> 令和元年度 重点「道の駅」の公募概要

公募概要

- 地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を公募
- 優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものを選定

公募期間と選定の流れ

- 令和元年8月8日(木)～11月8日(金)

企画提案書の提出

各地方整備局等から推薦

企画提案の評価・選定
(有識者意見を踏まえ実施)

重点「道の駅」の選定

- 重点「道の駅」は全国で15箇所、
重点「道の駅」候補は全国で15箇所を選定

その他

- 計画的な企画検討を促進する観点から、今後も毎年、公募を実施することを想定

支援内容

<ハード的な支援>

- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、社会資本整備総合交付金(直轄国道以外)及び交通安全施設等整備事業(直轄国道)の重点配分等により国交省が支援

<ソフト的な支援>

- 自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を構築。

選定にあたり優先的に評価する事項

- 重点「道の駅」候補からの企画提案
- 以下に関する企画提案
 - ・新たな観光拠点の形成(DMOとの連携、インバウンド観光)
 - ・風景街道・道守との連携
 - ・高速道路との連携
 - ・子育て応援
- 完成年が古い駅のリニューアル